

## 些細な気づきが行政を動かすことにつながる



有富 大樹  
(令和2年度採用)

### 1年目の業務内容、やりがいを感じたこと

1年目は行政相談業務と行政運営に関する調査（全国計画調査）業務を経験し、小学校での行政相談出前教室や、不登校引きこもりの児童生徒の支援についての調査を行いました。どの業務も規模が大きく、国民ニーズの最先端に関わることができるという替えようのない業務に大きなやりがいを感じました。

### 現在の業務内容、1年目との違い、心掛けていること

現在は中国5県を対象に、災害時における食物アレルギー疾患を有する避難者への対応に関する調査を実施しています。当局が主体となって行う調査ということもあり、2年目職員として、1年目の時には意識が向かなかった行政課題以外の周辺情報の収集を行うように心掛けています。

#### Q 中国四国管区行政評価局を志望したきっかけは？

A 行政の仕組みは変えられない、行政上の課題について困っているけど諦めている、そんな国民のニーズを捉え、改善に向けて業務ができるという他にはない仕事に興味を持ったことがきっかけです。今現在でも自分が携わる業務に強い意義を感じています。

#### Q 休日の過ごし方は？

A 休日は趣味のツーリングやドライブをしています。また、気分転換に趣味の時計磨きや時刻合わせをしています。

#### Q 1年間勤務してみて入省前とイメージは変わりましたか？

A 若手職員の裁量が大きいという部分は驚きました。特に、調査業務では、1年目職員が聞き取った事項でも報告書に反映されますし、言い換えれば、若手職員の些細な気づきも行政を動かすことにつながるというところは非常にやりがいを感じます。

#### 受験生に向けてメッセージをお願いします！

人生長いですから、じっくりと様々な官庁や自治体を検討された上で、納得のいく道を見つけていただければと思います。勉強に面接対策等大変だと思いますが、健康第一で頑張ってください！

### 1日のスケジュール

- 8:30 登庁、メールチェック、新聞記事などでの情報収集活動
- 10:00 午後からの調査に向けて室内で打合せ
- 12:00 昼休み
- 13:00 行政機関へのヒアリング調査
- 15:00 調査結果の整理
- 17:15 明日以降の予定を確認し、退庁